



## 「みのる節目」読書の秋

校長 佐藤文宣

10月11日、12日の2日間、6年生が修学旅行に行ってきました。新型コロナにより東京方面に行く修学旅行は4年ぶりでしたが、久しぶりの東京を満喫し、そして思い出に残る楽しい時間になりました。

1日目は国会議事堂から始まり、江戸文化の体験、浅草寺、東京スカイツリーを見学しました。ホテルに宿泊して2日目は、キッザニア東京に行き仕事体験をしました。修学旅行を通して、友達と協力し合い助け合うこと、公共のルールやマナーを守ること、人との出会いを大切にしながら様々な職業のよさや働くことの楽しさを感じるなど、自分たちのめあてをしっかりと達成してきました。下級生は、6年生になってから行く修学旅行を楽しみに待ちましょね。

さて、今日は、皆さんに一つ聞きします。

「10月27日（金）から11月9日（木）までの2週間を『〇〇週間』と言いますが、〇〇に当てはまる言葉は何でしょうか？」 ヒントは、秋は、『スポーツの秋』『食欲の秋』そして『〇〇の秋』とされています。

〇〇は、『読書』ですね。「秋は夜が長くなり、一人静かに過ごせる時間が増えることから、じっくりと本が読める。」という理由から『読書の秋』とされています。

6月に、『バスが来ましたよ』の絵本を皆さんに紹介をしました。読んでくれましたか。今日はそれに続く第2弾の絵本『夜をあるく』を紹介します。

この絵本の作者は、マリー・ドルレアン。フランスの絵本です。

真夜中に、ママが子どもたちを起こしに部屋に入ってくる場面から始まります。

家族4人は、自分の身支度を整えると、暗闇の中へ出発します。コオロギが庭の隅で鳴いています。家族は、足音をたてずに町を歩いていきます。

片目をあけている町はずれの家。車輪をきしませて走る列車…。

さらに暗い通りを静かにどンドン歩き、町をぬけて山のふもとへ。

そして、ひっそりとした森の中を進んで歩き…、

「あっ、あれは・・・」

家族がそろって、夜を歩き、さて最後に見たものは何でしょうか。

お話の続きは、自分で読んでくださいね。

今日は、もう一冊紹介します。この本は『ちいさなハチドリのことば』という絵本です。文字のないページが多くありますが、主人公のハチドリの言動から「諦めてはいけない」「自分にもできることがある」という、熱いメッセージが伝わってきます。校長先生が好きな絵本の一冊です。まだ、読んでいない人は、ぜひ読んでほしいです。

西小の図書館には、絵本だけでなく物語や歴史、自然科学等、たくさん本があります。自分の好きな本を見つけましょう。いろんな本を読んでみましょう。そして、本と出会う楽しさをこの秋、見つけましょう。



## ヘチマの変化

学校日より第3号、第4号でも紹介しましたが、今年もヘチマが大きく生長しました。

左の写真は第3号の時のものです。青々とした葉が茂り、ツルが伸び、大きな実もついています。

右の写真は、11月のヘチマの様子です。

2か月で大きく変化したことが写真を並べてみるとよく分かります。右のヘチマには緑の葉が一部分ありますが、茶色く枯れたり葉が落ちたりしています。しかし、下の写真のように茶色い実をたくさんつけています。この実の中に



は、来年の春に芽を出す種があり、枯れているように見えても中でその種が日々熟していっています。着実に、春に向けての準備を始めているのです。

学校は「みのる節目」に入りました。子どもたちには少しずつ来年度に向けての目標をもたせていきたいと思います。また、日々の授業を今まで以上に充実させ、子どもたちがヘチマのよう実をつけ種を蓄え、5か月後の春に新たな芽を出せるように、支えていきたいと思っています。

引き続き、保護者の皆様には御理解と御協力をよろしくお願い致します。

教頭 宮地



令和5年度 磐田西小学校 学校教育目標「一心に学び 高め合う子」

磐田西小学校ホームページ <https://iwatanishi-e.city-iwata.ed.jp/>



※学校のホームページでは、子供たちの活動の様子を紹介しています。

あと少しで、閲覧者が10万人に到達します。ぜひ御覧ください。